

「新しい北海道アウトドア活動振興推進計画」の骨子（案）について

I 計画策定の考え方

- 1 趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 施策推進の視点

I 計画策定の考え方 3 施策推進の視点 に、
内外の社会経済情勢の変化として
 ・ SDGs
 ・ 新型コロナウイルス感染症
 ・ アドベンチャートラベル
 を位置づけた上で、
 全体を通して、上記3つの視点及び 上位計画である、
 次期「北海道観光のくにづくり行動計画」との整合を図る

- (1) 人と自然の共生
- (2) 地域に根ざした個性豊かな人材の育成・確保
- (3) 北海道らしいライフスタイルの形成
- (4) アウトドア活動の振興に資する産業活動の活発化
- (5) 持続可能な開発目標（SDGs）の推進
- (6) ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた取組
- (7) アドベンチャートラベルの振興

※ 新設

4 計画期間

II アウトドア活動を巡る現状と課題

- 1 アウトドア活動を巡る現状
 - (1) 体験型観光の現状
 - (2) アウトドア資格制度の現状
 - (3) アウトドア事業者の現状
 - (4) エコツーリズムの現状

2 アウトドア活動を巡る課題

(←SDGs、コロナ、ATについて追記)

- (1) 自然環境の保全
- (2) 安全性の確保
- (3) アウトドア資格制度の普及
- (4) アウトドア事業者の経営安定化と連携強化
- (5) 地域の住民生活、産業活動等への配慮
- (6) アドベンチャートラベルの振興

(←コロナについて追記)

(←SDGsについて追記)

※ 新設

III アウトドア活動の振興施策の基本方向及び展開方向

- 1 アウトドア活動に対する理解の促進
- 2 アウトドア資格制度によるガイド及び事業者の育成
- 3 自然とふれあう場の保全
- 4 自然とふれあう場の確保、機会の提供
- 5 体験型観光の推進
- 6 アドベンチャートラベルの推進

(←コロナについて追記)

※ 新設

IV 各主体に期待する役割

- 1 アウトドアガイド及びアウトドア事業者
- 2 アウトドア活動を行う者
- 3 道民

V 計画の推進

- 1 推進体制
- 2 道民、アウトドア事業者、行政機関などとの連携・協力
- 3 推進管理